

■当研究所の目指すところ

近自然（多自然）の川づくり ～治水と環境の両立を図る河川整備～

当研究所では、1980年頃にスイス・ドイツで生まれた「近自然河川工法」の考え方をもとに、治水と環境の両立を図りながら、より良い河川環境をつくっていくことを目指しています。

川づくりの方針

方針1 その川の良いところはできるだけ保全する

「川づくり」と言うと、“川をつくり変える”という印象を与えるかもしれませんが、近自然の川づくりの基本は、その川の良いところを“守る”ことです。

方針2 それぞれの川の特性を見極める

川にはそれぞれ特徴があります。また、同じ川でも上流と下流では“水と土砂の動き方”が違います。川づくりにあたっては、「その場所が、本来どういった環境になるのか」を確認してから対策を立てます。

方針3 「生物の多様性」のために、まずは「物理環境の多様性」を生み出す

生き物の生育・生息環境の基盤となっているのは、川の物理環境（河床材料の大小・流れの緩急・河床の凹凸など）です。この“物理環境を多様にする”ことが川の生態系を豊かにするために大切だと考えています。

方針4 川の営力を活用する

近自然の川づくりでは、川が自らの営力（流水による浸食・運搬・堆積の作用）で徐々に回復していけるように、“人間はその手助けをする”という視点で対策を考えます。

方針5 景観へ配慮する

昔は、その場所にある材料を使った工法で川を治めていました。その積み重ねがそれぞれの川の景観をつくってきたのです。近自然の川づくりでも、その場所の材料（石、木、植物など）をなるべく活用し、その川の景観に馴染むようにします。



■ 概要・代表経歴

代 表 : 有川 崇 (ありかわ たかし)

神奈川県出身

2002年3月 高知大学農学部生産環境工学科 卒業

2002年4月 株式会社 西日本科学技術研究所 入社

*主に近自然(多自然)の川づくり業務に従事

2015年8月 「近自然河川研究所」開業

<資格> 技術士 (建設部門: 河川、砂防及び海岸・海洋)

測量士

無人航空従事者試験1級 (マルチコプター)



所在地 : 〒781-5235 高知県香南市野市町下井901-8

T E L : 0887-50-1668

M A I L : arikawa@kinshizen-river.net

■ 事業内容

1. 河川環境改善のための調査・計画・設計・施工指導

- ①診断: 資料と現地調査から、その川の特性と問題点を洗い出します
- ②処方: 問題を解決するための計画策定、対策工の設計、現地での施工指導を行います
- ③メンテナンス: 定期的なモニタリングを行い、追加の対策の必要性などを判断します

2. 魚道の設計・施工指導

魚道の新設や既設魚道の改善にあたり、対象魚の遊泳特性や立地条件に応じて最適な魚道を提案し、その設計と施工指導を行います。主に現地発生の巨石を用いた「近自然魚道」や、魚類の遡上性・施工性・経済性にすぐれた「小わざ魚道」を扱っています。

3. 漁場の再生

長く「釣り場」として親しまれていた“瀬”や“淵”が、人為的な改変(ダム建設、護岸整備、架橋など)によって、無くなったり劣化したりする事例が増えています。なるべくその場にある材料を活用しながら、アユやアマゴなどの漁場としての“瀬と淵”を再生するお手伝いをします。



4. マルチコプターによる空撮 (写真・4K動画)

河川の現状把握やモニタリング調査では、マルチコプターを用いた空撮もしています。個別の空撮依頼も承っています。

- ・使用機: DJI社製 Phantom3 Professional
DJI社製 Phantom4 Pro V2.0
- ・飛行規制エリアでの撮影に必要な
「無人航空機の飛行に関する許可・承認申請」の実績あり
※法令等により撮影できないエリアがあります
- ・賠償責任保険に加入しています

